

ロバート・レットビー
国際第三副会長

ロバート・レットビー（スイス ヌーシャテル）は、2026年7月2日から7月7日にかけて中国・香港で開催されたライオンズクラブ国際協会の第108回国際大会で、同協会の国際第三副会長に選出された。

土木工学の修士号を持ち、家族経営の建設会社グループの元CEO兼取締役。現在は会社を退職しているが、水処理や産業安全の分野でコンサルタントとして活躍している。

1992年以来ヌーシャテル・ライオンズクラブのメンバーで、2013年から2015年にかけてライオンズクラブ国際協会の理事を、2018年から2019年には理事会アポイントを務めた。

協会内でゾーンおよびリジョン・チェアパーソン、地区幹事、地区ガバナー、協議会議長など、数多くの役職を歴任。ユニセフへのライオンズクラブ国際協会代表、ヨーロッパフォーラム会長、100周年記念実行委員会共同委員長、GAT会則地域リーダー、キャンペーン100副委員長、LCIF会則地域リーダー、DGEセミナー・グループリーダー、公認講師、研究会講師、コーディネーター・ライオンなど、国や国際レベルで複数委員会の委員長や委員を務めた経験もある。

国際協会への貢献が認められ、国際会長メダル12回、会長感謝状複数回、親善大使賞、国際理事表彰アワードなど、数多くの賞を受賞している。プログレス・メルビン・ジョーンズ・フェロー（特別レベル）でもある。

ライオンズでの活動に加えて、専門分野や地域社会に関わるさまざまな団体やスポーツクラブにも積極的に関わっている。

キャサリン夫人とのあいだには2人の息子と4人の孫がいる。